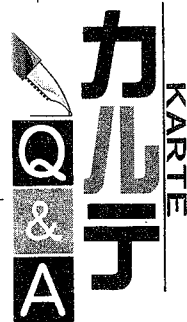


視力が0.03ほどの近視のため、コンタクトレンズを使っているが、50歳ごろから小さな文字が見えづらい。コンタクトをしたまま老眼鏡をかけることもあるが、とても小さな文字だと見えないことも。乱視も入っている。改善する方法はないか。(51歳、女性)

近視、乱視で老眼



松原令医師

コンタクトレンズを装着中に老眼鏡を使っても細かい字が見えないとのこと、心配ですね。

まず近視は、目の屈折異常

により遠くが見えにくい状態を指します。一方、老眼は年齢に伴って目の調節機能が衰えて近くが見えにくくなる状態です。近眼の方は老眼にならないとよく言われますが、老眼は目の調節力の低下であり、近眼の方も老眼になります。た

黄斑変性症や白内障に注意

だ一般的に近眼の方は手元がよくみえるので、老眼になっていることを自覚しにくい傾向にあります。

近眼の方がコンタクトレンズを装着すると遠くがよく見えるようになりますが、逆に調節力の低下の影響を受けて手元が見えにくくなります。

今回、考えられる可能性と

しては、老眼鏡が合っていないか、何らかの病気が隠れているか、ということ。強い近視の方が注意すべき病気として、黄斑変性症と白内障が挙げられます。近視性黄斑変性は、近視が原因で黄斑部の構造が変化し、視力低下を招く病気で

黄斑部は、網膜の中心に位置し、日常生活で細かいものを見る際に最も重要な役割を担います。この部分が損傷すると、読書や細かい作業が困難になるなど、生活に大きな影響を及ぼします。

白内障は目の水晶体が濁る病気で、視力低下の原因となります。コンタクトを外して

手元を見ても、はつきり見えない場合、白内障が進行している可能性があります。治療方法を選択する際には、個人の状態やライフスタイルに合わせて眼科医と相談することが大切です。特にコンタクトと老眼鏡の併用で効果が不十分な場合、老眼鏡の

再調整が有効な場合があります。乱視の矯正も視力回復には重要です。眼科を受診していただき、詳細な眼科検査と眼科医のアドバイスを受けることをお勧めします。

(兵庫県眼科医会、松原令|| 神戸市東灘区、松原眼科クリニック院長)
◇第1、3、4日曜に掲載
します。